

Ⅱ 子どものくらし

1 学校での1日のくらし 【日課表】

	通常 5時間授業	通常 6時間授業	弁当時程	4時間授業 給食あり	3時間授業 給食なし
朝学習	8:10 - 8:25		(なし)		
朝の会	8:25 - 8:35		8:20 - 9:05		
1校時	8:35 - 9:20		8:20 - 9:05		
2校時	9:25 - 10:10		9:10 - 9:55		
業間 休み	10:10 - 10:25		9:55 - 10:10		
3校時	10:30 - 11:15		10:15 - 11:00		
4校時	11:20 - 12:05		11:05 - 11:50	11:05 - 11:50	
給食 (弁当)	12:05 - 12:55		11:50 - 12:30	11:50 - 12:40	
掃除	13:00 - 13:15		12:30 - 12:40		11:00 - 11:15
昼休み	13:15 - 13:40		12:40 - 13:05		
5校時	13:45 - 14:30		13:10 - 13:55		
6校時		14:35 - 15:20	14:00 - 14:45		
帰りの 会	14:30 - 14:40	15:20 - 15:30	5時間 13:55 - 14:05	12:40 - 12:50	11:15 - 11:25
			6時間 14:45 - 14:55		
委員会 クラブ	委員会 14:45-15:15	クラブ 14:45 - 15:45			
※下校 時刻	14:40 (委員会 15:15)	15:30 (クラブ 15:45)	5時間 14:15 6時間 15:05	13:00	11:35
完全下 校	4 -10月 16:00 11- 3月 15:45		下校時刻に同じ		

※下校時刻は、学年通信等で、各家庭やスクールガードに知らせる時刻。

Ⅱ 子どものくらし

2 「滝二小のよい子」

◎目標 挨拶（「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」「ごめんなさい」「さようなら」）と返事（「はい」）を、はっきり言えるようにしよう。		
いつ	何を	どのようにする
登校する前	学習用具の確認	・学習用具（滝二小体育着）や忘れ物がないように、前の日のうちにそろえ、確かめる。
登校するとき	安全な登校	・安全に気をつけて、 <u>通学路を</u> 通って登校する。 （横断歩道を渡る、信号を守る、右側を歩くなど交通ルールを守る）
学校に来たら	くつ の 整 理 学習用具の整頓 筆記用具の準備	・くつは、かかとをそろえてくつ箱に入れる。 ・中ぐつは、かかとを折らないで、昇降口できちんとはく。 ・かばんや学習用具をしまってから遊ぶ。 ・校舎内では名札をつける。
朝活動	取り組み方	・朝学習は、読書・漢字・計算などをする。 ・火曜日の、全校朝会や児童朝会は整列して静かに移動する。 ・時間を守ってスタートし、集中して取り組む。
朝の会	会の進め方	・健康観察では、体調をはっきりと話す。 ・一日の活動予定や、めあてをしっかりと確かめる。
休み時間	準 備 廊 下 歩 行 遊 び	・次の時間の学習の準備をしてから行動する。 ・チャイムの合図で遊びをやめ、始業時間までに教室に戻る。 ・右側を静かに歩く。廊下やホールでは、騒がない。 ・約束を守って遊ぶ。（5分休みは遊び時間ではない） ・教室から校庭や体育館まで、ボールを手に持って移動する。 （ボールをけったり、ドリブルしたり、地面につけない）
給食の時	食 べ る 前 食 べ て い る 時 食 べ た 後	・手洗い、うがい（消毒）をし、ハンカチで拭く。 ・マスクをつけ、清潔にして、一列に並んで給食を取りに行く。 ・マナーに気をつけ、静かに食べる。（昼の放送を聞く） ・きれいに後始末をする。（給食で出たごみを拾ったり周りを片付けたりする）
掃 除	取り組み方	・赤白帽子を被り、掃除の手順に沿って、きれいになるように取り組む。 ・話をせず、時間いっぱい進んで働く。 ・掃除が終わったら、きちんと反省し、手洗い、うがいをする。
帰りの会	会の進め方	・次の日の予定を確認し、必要な事をメモする。 ・一日をふりかえり、きちんと反省をする。
放課後	居 残 り	・先生の許しを得てから、委員会や係の活動、学習をする。
下校するとき	下 校 時 刻	・自分のまわりを整え、名札を置いて帰る。 ・低学年は学年一斉、中学年は学級一斉に下校をする。高学年は家の方向が同じ 友達と一緒に下校をする。 ・「さようなら」をしたら、断りなく友だちや兄弟を待ったり、 <u>寄り道をしたりしないで、自分の通学路を</u> 通って帰る。

滝沢市立滝沢第二小学校

Ⅱ 子どものくらし

3 「滝二小のルール」

<p>学習に使わない物は持ってこない</p>	<ul style="list-style-type: none"> • お金やゲーム機など学習に必要なのない物は、学校に持ってこない。 • <u>携帯電話、スマートフォンは、持ち込み禁止。</u> • シャープペンシル、練り消しゴム、必要以上に多いペンや消しゴムなどは、持ってこない。 • <u>カバンや筆箱にキーホルダーをつけない。</u>（御守り程度はよい）
<p>自転車の安全な乗り方</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 許可証をつけていない人は乗車禁止とする。 • 必ず点検整備をした自転車に乗り、乗る前にも確認をする。 • 二人乗り、並進、無灯火、手放しなど、危険な乗り方はしない。 • 必ずヘルメットをかぶって乗る。 • ピンクコース坂道は、自転車を押して歩く。 • 1、2年生は自宅の周りで、保護者が見ている時だけ乗れる。 3年生は自分が住んでいる、子ども会の中だけ乗れる。 4年生は自分が住んでいる、地区（巣子、南巣子、長根）の中だけ乗れる。 5、6年生は学区内だけ乗れる。
<p>やってはいけない遊び方</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 学校の裏や斜面、体育館への外通路、駐車場は遊び場にしない。 • 昇降口前でボール遊びや鬼ごっこはしない。 • 石投げ、石けりは絶対にしない。（石は持たない） • 校庭がぬれて、足跡がつくときは、校庭で遊ばない。 • 校庭での雪投げはいいが、<u>登下校中や校庭以外の場所での雪投げは禁止。</u> • 除雪した雪を積み上げた雪山に登ったり、滑ったりして遊ばない。
<p>部屋への出入り</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 必ずノックをし、帽子・ジャンパー・カバンを入りに置いてから、学年、氏名、要件を話して入室する。 • 戸やドアは、開けたら必ず閉めるようにする。 • 「失礼します」「失礼しました」のあいさつをする。
<p>他の教室へ移動するとき</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 特別教室、体育館、校庭への行き帰りは、整列して無言で移動する。 • 学年に割り当てられた（決められた）廊下を歩く。
<p>服装について</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 式や会など、場にあった服装を心掛ける。 • <u>体育は、滝二小体育着を着用する。</u> • 校舎内では名札をつける。 • <u>中ズックの裏側は、白かゴム製のものにする。</u>

基本的な行動様式を身に付けて、心身共に、安心・安全な生活を心がけましょう。



Ⅱ 子どものくらし

4 ひびかせよう「あいさつと返事」

◎目標 あいさつ（「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」「ごめんなさい」「さようなら」）と、返事（「はい」）をはっきり言えるようにしよう。

場所	どんなとき	どのようにする
校舎外	登下校時	○地域の方、スクールガード、登校指導の先生へ 「元気なあいさつをしよう」 ○止まってくれた車に、渡ってから 「しっかり礼をして感謝しよう」
校舎内	日常的	○来校者にあいさつ 「聞こえる声で、はきはきと」 ○先生方にあいさつや会釈 「礼儀正しく、行動しよう」 ○友だちにあいさつ 「されたらきちんと返そう」 「自分からみんなにあいさつしよう」 「気持ちがよくなるあいさつをし合おう」
	学習時	○始めと終わりには 「学級そろって、あいさつをしよう」 ○名前を呼ばれたら 「聞こえるように返事をしよう」
	全校朝会・ 児童朝会時	○朝のあいさつ 「大きな声で元気よく」 ○始めと終わりには 「全校そろって、『はい』の元気な返事」
	部屋への出入り	○ドアをノックし、自分の名前、要件を 「聞こえるような声で、はっきり伝えよう」

5 学習の道具

Ⅱ 子どものくらし

新年度を迎えるにあたり、「学用品」について、再度お子さんの持ち物をご確認ください。不足がありましたら、次の通りご準備願います。

【筆記用具について】

- 1・2学年…鉛筆5本（2B～B），消しゴム（白いもの），下敷き直線定規（15cm前後）赤・青えんぴつ
- 3～6学年…鉛筆5本（2B～B），消しゴム（白いもの），下敷き直線定規（15cm前後），三角定規（なるべく正確なもの）分度器，コンパス，赤・青ペン（学年によっては赤青えんぴつ）

【滝沢第二小学校全校での約束】

- ・鉛筆，キャップの模様は，キャラクター入りではなくシンプルなものとする。
- ・下敷きは無地のものとする。
- ・シャープペンシルは学校に持ってこない。（家庭学習でも使わない）
- ・色ペンや飾りもの，小物等，学習の集中を欠くようなものは筆箱に入れたり，付けたりしない。
- ・学習に関係ないものは一切学校に持ってこない。

【その他】

- ・赤，青ボールペンを使う場合は，ノック式でないものが望ましい。
- ・筆箱は使いやすく，あまり音のならないものが望ましい。
（授業中，筆箱は机の上に置かないことになっています。）
- ・鉛筆は家で削ってくる。（原則，学校では鉛筆を削りません。）
- ・中ズックにひも靴を使う場合は，ひもを正しく結び自分で管理できるようになってから使用することができる。

※ご家庭でも時々，お子さんの学用品の様子を見てあげるようお願いいたします。

Ⅱ 子どものくらし

6 家庭学習の取組

1 家庭学習の取組について

児童に学年に応じた家庭学習の習慣を確立させるように計画をする。また、家庭の教育的な関心を喚起させ、児童の家庭学習環境づくりについて、協力を得るようにしたり、授業と連動した内容の課題の設定や学習意欲の喚起などをしたりして指導を図る。

(1) 日々の課題

- ・ 授業と連動した家庭学習の課題にも積極的に取り組ませる。
- ・ 「音読」「読書」「宿題」「自分で決めた課題」を中心とする。
- ・ 学年で量と内容については、原則そろえる。

(2) 家庭学習週間

- ・ 小中連携の観点から、「親子ふれあい学習週間」と実施時期を合わせ、年3回（6月、9月、11月）実施し、通信等で話題にする。
- ・ 1学期の4月、3学期の2月は、家庭学習の習慣化のために学年で強化して取り組む。
- ・ 各学年での取組やお願いについて、学年通信でお知らせする。
- ・ 取組を記録し、評価するためのカードを配付し、記録させることで、自分の家庭学習について振り返らせる。また、集計をすることで今後の家庭学習に生かさせ、保護者からのコメントを励みとさせる。（資料1）

「親子ふれあい学習週間」配布資料

家庭学習の進め方 4年～6年生

学習習慣を身につけ、自ら学ぶ子どもを育てるために

学習環境を整えます

○勉強する場所と
勉強を始める 時間を決めましょう。

○勉強するときは
テレビを消しましょう。

【家庭学習の内容】

① 宿題・音読などの課題
宿題は、決められた時間・回数に必ず取り組むことが大切です。宿題がない日も必ず宿題を
宿題が宿題として宿題として取り組むことが大切です。
② 音読
音読は、決められた回数・回数に必ず取り組むことが大切です。音読は、決められた回数・回数に必ず取り組むことが大切です。
③ 読書
読書は、決められた回数・回数に必ず取り組むことが大切です。読書は、決められた回数・回数に必ず取り組むことが大切です。
④ 学習
学習は、決められた回数・回数に必ず取り組むことが大切です。学習は、決められた回数・回数に必ず取り組むことが大切です。

【時間のめやすとおうちの方々の関わり(お願い)】

1年生 2年生以上
2年生 3年生以上
3年生 4年生以上
4年生 5年生以上
5年生 6年生以上
6年生 7年生以上

家庭学習振り返りカード 1

年 級 番 号 名 前

内 容	学習日			
	6月	7月	8月	9月
1 決められた時間・回数に必ず取り組むことができた。				
2 学年で決めた時間以上の学習ができた。				
3 テレビやゲームを消して、学習することができた。				
4 ていねいな字で書くことができた。				
5 学年の決めた回数以上の学習ができた。				

親子ふれあいの時間
（毎週金曜日の夜）

【振り返りの感想】

振り返りの項目

- ① ていねいな字で書くことができた。
- ② 学年で決めた時間以上の学習ができた。
- ③ テレビやゲームを消して、学習することができた。
- ④ 立ち歩かずに、学習を続けることができた。

Ⅱ 子どものくらし

2 家庭学習の時間と内容

(1) 家庭学習のねらい

- ① 学年に応じた家庭学習の習慣と方法を身につける。
- ② 家庭での生活時間の有効な使い方を身につける。

(2) 家庭学習の時間と内容

① 時間

学年×10 + 10分

学 年	1 年生	3 年生	5 年生
時間のめやす	20分 以上	40分 以上	60分 以上
学 年	2 年生	4 年生	6 年生
時間のめやす	30分 以上	50分 以上	70分 以上

② 内容と家庭での関わり方

学 年	低学年	中・高学年
内 容	音読・宿題（プリントやドリル等）・読書・一人勉強	
	<ul style="list-style-type: none"> ・日記・作文・教科書の視写 ・ひらがな練習・カタカナ練習 ・言葉集め・計算カード・長さ調べ・かたち集め・自然観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・日記・作文・教科書の視写・漢字練習・文づくり・意味調べ・読書紹介・ことわざ調べ・計算練習・文章問題・図形を書く・算数の用語やその内容を確認する。理科や社会の教科書をまとめる。
家庭での関わり方	<p>◎笑顔で話を聞きましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほめる。 ・答え合わせをする。 ・間違いを直させる。 	<p>◎子どもの話に耳を傾け、取り組む姿を見守りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習成果やその過程を認める。 ・一緒に答え合わせをする。(中) ・学習内容・質に気を配る。(高) ・目標が達成できたらほめる。
<p>【家庭学習を習慣づけるための3つの約束】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズム ② テレビ・ゲームやスマホなどのない時間を設定 ③ 毎日、決まった時刻の学習習慣 		

Ⅱ 子どものくらし

7 滝沢第二小の自転車利用

(1) はじめに

平成25年4月末、滝沢村内の小学1年生児童の自転車死亡事故を本校の問題として受け止め、教職員はもちろんのこと、交通安全にかかわる関係者・保護者・地域の方々 と情報を共有しつつ、対応を模索してきました。その事を踏まえ、本校児童の自転車利用について、下記の通りと致します。

(2) 本学区の状況

多くの児童にとって、本校及び滝沢第二中学校は、自宅から遠い場所にあります。従って、安全に自転車に乗ることは、欠くことのできない技能であると思われます。また、その後の高等学校進学や社会人としての生活を考えた時、さらにその必要性は高まるのではないかと考えます。

(3) 自転車利用は親の責任で

本来的に、自転車運転の技術を習得させるかどうかは保護者の判断であると思われます。自転車通学以外について、学校として関わることではないと考えるところです。しかし、児童が事故に遭遇すれば、学校の関わりが問われるのも現実であります。そこで、自転車利用に係る責任は親にあることを明確にしつつも、自転車利用に関する本校の基本を示し、保護者の協力を仰いで、児童の安全確保を図りたいと考えます。

(4) 自転車利用に関する本校の基本

ア 自転車教室、自転車点検

4月に、3年生以上を対象とした自転車教室を開催する。安全な自転車の乗り方について、滝沢市交通安全教育専門員（市民環境部 防災防犯課）による実技と講話を実施する。

自転車点検を各家庭にお願いします。学級担任に点検表を全員が提出し、自転車教室を終えたら、自転車の利用を認める。

乗り方や技能の状況を随時確認し、安全が確保できないと判断した場合は、自転車の利用を停止する。

イ 1・2年生

自転車の運転技術の習得時期であり、安全を確保しながら、保護者の責任で技術の習得を図る。保護者の監視のもと安全を確保し、ヘルメットを着用した上で、家の周りや車の来ない公園等で練習させる。また、子どもだけでの路上での自転車運転については、禁止する。

ウ 3年生

3年生から、道路の自転車走行を許可することから、校内自転車教室の充実を図る。滝沢市交通指導専門員や西警察署の協力を得て、発車や停車、コース走行の実技や、講話や筆記試験などを行う。

自転車教室後、自転車運転講習会受講済証を交付する。保護者の責任で自転車を利用するという考えに基づいて、自転車運転講習会受講済証は保護者に渡す。子どもの技能等を確認して、保護者が自転車のかご等に自転車運転講習会受講済証を取り付ける。

3年生は、自分が住んでいる子ども会の中に限って自転車を運転することができる（松風子ども会の児童は、範囲が狭いため、保護者の指導のもと旭・西巣子まで範囲を広げる／令和元年度第2回育成部会で確認済み）。